

令和5年5月24日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

令和5年度 新型コロナウイルスワクチン接種を実施

令和5年度も、希望する方は自己負担なしで新型コロナウイルスワクチンを接種することができます。

【春開始接種】

- 接種期間／5月～8月
- 対象者 ※今までに2回以上のワクチン接種が完了している方に限り
①65歳以上の方
②12歳以上で基礎疾患等があり、感染した場合に重症化リスクが高い方
③医療従事者、高齢者施設従事者等
- ワクチン／ オミクロン株対応2価ワクチン（1回の追加接種）
- 会場等

区分	会場	実施日	備考
集団接種	イオン小千谷店 2階特設会場	5/26(金) ～7/25(火)	※会場が2階に変わります。 (旧フードコート)
	小千谷総合病院	6/4(日)、6/18(日)、 7/2(日)、7/16(日)	会場は1階になります。
地域接種	片貝総合センター	5/29(月)、6/19(月) 6/24(土)、7/8(土)	
	真人ふれあい交流館	7/21(金)、7/22(土)	
	岩沢住民センター	7/18(火)、7/19(水)	
	東山住民センター	6/21(水)	
個別接種	市内診療所 小千谷さくら病院	随時	詳細はワクチン接種対策班に お問い合わせください。

■接種券及び予約等

- ・ 65歳以上で前回の接種で日時指定された方
→これまでと同様に日時を指定するため、予約は不要
※前回の接種で日時を指定されなかった方はご自身で予約が必要
- ・ 基礎疾患等がある重症化リスクの高い方で、前回までの接種で申請された方
→接種券を郵送。接種券が届いたら、ご自身で予約
- ・ 上記以外の方で接種券が必要な方は申請が必要になります。

【小児への追加接種】

■接種期間／5月～8月

■対象者／5歳～11歳で2回以上のワクチン接種が完了している方

※接種日に上記の年齢となっている方に限ります。

■ワクチン／ファイザー社製 小児専用オミクロン株対応2価ワクチン

■会場等

区分	会場	実施日	備考
集団接種	小千谷総合病院	6/11(日)、6/25(日) 午前のみ	予約状況により接種日を追加する場合があります。
個別接種	にたはら こどもクリニック	集団接種終了後	

■接種券及び予約等

対象者に随時接種券を郵送。接種券が届いたら保護者等の方が予約。

【初回接種】

乳幼児（生後6カ月～4歳）、小児（5歳～11歳）、12歳以上の方で初回接種（1回目、2回目 ※乳幼児は3回目まで）が完了していない方は、市内の診療所等の個別接種にて、令和6年3月31日まで自己負担なしで接種できます。ご希望の方は予約をお願いします。

【秋開始接種】

9月～12月頃に5歳以上の全ての方を対象に「秋開始接種」を実施する予定です。詳細が決まり次第、順次お知らせします。

【予約申込、相談等】 ※受付時間：午前9時～午後5時（平日のみ）

予約申込等：小千谷市コロナワクチン予約センター ☎ 0258-86-5266

変更・キャンセル、相談等：小千谷市新型コロナワクチン相談センター

☎ 0258-89-8501

本件に関するお問い合わせ先／

小千谷市健康・子育て応援課内 ワクチン接種対策班 担当／渡辺・吉井

TEL：0258-83-3640 FAX：0258-82-8964 E-mail：kenko@city.ojiya.niigata.jp

令和5年5月24日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

「おぢや子育て応援アプリ」の運用を開始

母子モ株式会社が運営する母子手帳アプリ「母子モ」を導入し、「おぢや子育て応援アプリ」として6月1日（木）より運用を開始します。

◆「おぢや子育て応援アプリ」とは

妊娠中または子育て中のママ・パパを応援するスマートフォン向けのアプリです。アプリを登録すると、お子さんの成長記録はもちろん、小千谷市からの子育て情報や予防接種等のお知らせが届きます。

◆サービス開始日／6月1日（木）

◆アプリの主な機能

- ・妊娠がわかった時、赤ちゃんが生まれた時に必要となる各種手続きの方法や小千谷市の支援事業・制度の案内
- ・妊娠中の体調・体重記録（グラフ化）、胎児や子どもの成長記録（グラフ化）
- ・予防接種：標準接種日の自動表示、接種予定・接種日の管理、受け忘れ防止アラート機能
- ・妊娠週数や子どもの月齢に合わせた知識やアドバイスの配信
- ・市内施設の案内（病院、幼稚園・保育園、公園、子育て施設など）
- ・地域の子育て情報（イベントや乳幼児健診等）の配信
- ・子どもの成長を写真と一緒に記録、家族間で閲覧でき、SNSにも投稿可能 等

◆アプリのダウンロード方法

アプリストアから「母子モ」で検索
または右記二次元コードからダウンロード（無料）

母子手帳アプリ
おぢや子育て応援アプリ



妊娠から出産・育児
までをフルサポート！

母子モ 検索

アプリストアから
ダウンロード！



令和5年5月24日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

小千谷市 中越地域人権啓発活動ネットワーク協議会 人権啓発事業

蓮池薫氏講演会を市内全中学校で開催

小千谷市及び中越地域人権啓発活動ネットワーク協議会では、市内全中学生約900人を対象に、人権啓発講演会を開催します。

この講演会は、小千谷市の未来を担う中学生が、拉致問題を通して人権に関する課題を自分事としてとらえ、よりグローバルな視点で人権尊重の社会を築くために主体的に行動しようとする態度を育むことを目的として行うものです。

■会場・日時

学校名	会場	日付	時間	生徒数
小千谷中学校	体育館	5月29日(月)	午後1時20分～2時50分	472名
東小千谷中学校	体育館	6月1日(木)	午後1時40分～3時10分	152名
千田中学校	体育館	6月5日(月)	午後1時30分～3時	120名
南中学校	体育館	6月12日(月)	午後2時10分～3時40分	48名
片貝中学校	体育館	6月19日(月)	午後1時45分～3時15分	91名

■講師・演題

新潟産業大学 特任教授 蓮池 薫 氏 『拉致で失ったもの ～夢と絆～』

■主 催

小千谷市（事務局：市民生活課）

■共 催

中越地域人権啓発活動ネットワーク協議会（事務局：新潟地方法務局長岡支局）

※各校への取材は、前日までに申込みが必要です。各校の取材申込みについては、下記担当までお問い合わせください。（本講演会は、一般公開は行いません。）

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市市民生活課市民係 担当／五十嵐・久須美
TEL：0258-83-3509 FAX：0258-82-8664 E-mail：shimin@city.ojiya.niigata.jp

令和5年5月24日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

小千谷市 おぢや郷土資料調査団 主催事業
春季企画展「民具と語る－農具で紡ぐ小千谷の歴史と田園風景－」

市民の皆さんから寄附いただいた農具資料の展示を行います。複合施設開館に向けた取り組みとして「地域アーカイブ」の手法を取り入れた展示となります。

※地域アーカイブとは…地域に残されたあらゆる人・もの・ことに関わるアナログ・デジタル資料を、地域の財産として記録・保存していく取り組み。

■日時／5月25日（木）～6月11日（日） 午前9時～午後5時 ※水曜休館

■会場／楽集館1階 展示室（上ノ山4-4-2）

■内容

<展示概要>

- ・ 明治～昭和期まで稲作や畑作に用いられた
藁製・木製・金属製の農具資料展示
- ・ 昭和期の農業に関する写真
- ・ 展示資料について、思い出の聞き取り調査
（火曜日・木曜日の午前中

5月25日・30日、6月1日・6日・8日）

<開催中のイベント>

- ・ 展示解説

●6月10日（土）午前10時～

会場：楽集館1階展示室

【講師：小千谷市文化財担当・

おぢや郷土資料調査団】

■入場／無料



【展示資料】

明治～昭和期に用いられた
農具



【展示写真】

はさがけと子育て

本件に関するお問合せ先／小千谷市にぎわい交流課（複合施設開設準備室） 担当／白井・遠藤
TEL：0258-82-2724 FAX：0258-82-8915 E-mail：tosyo-y@city.ojiya.niigata.jp

令和5年5月24日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

認知症高齢者見守り隊講座を開催

認知症の方の傾聴（話し相手）ボランティアを養成する講座を開催します。

認知症は年々増えており、誰にでもなり得る身近な病気の一つです。認知症になっても周囲が正しく理解し、見守り、支えることで住み慣れた地域での暮らしを続けることができます。話し相手がいることは、地域とつながり続け、本人の気持ちを安定させるだけでなく、介護者の支援にもつながり、孤立や虐待を防ぐこととなります。

◆講座日程・内容

日時	内容	講師	会場
6月21日（水） 午後1時30分 ～3時	【認知症を理解する】 ○認知症とその対応 ○高齢者の安心と安全 ～虐待の予防～	○認知症キャラバンメイト ○地域包括支援センター職員	サンラック おぢや 大ホール
7月4日（火） 午後1時30分 ～3時40分	【認知症の人を支える】 ○『傾聴』 ～相手の気持ちを受けとめるように 聞き合い、お互いの理解を深める方 法～	ONHK 学園「傾聴講座」監修者 （アクティヴリッスン） 澤村 直樹 氏	
8月10日（木） 午後1時30分 ～3時	【認知症の人の気持ちを理解する】 ○介護者からのメッセージ ○認知症高齢者見守り隊（笑和会） の活動紹介 ○ボランティアの基本	○介護者 ○認知症高齢者見守り隊 しょうわかい （笑和会）会員 ○社会福祉協議会職員	

◆参加費無料

◆申込み期限／6月9日（金）

◆申込み先／電話（0258-83-3517）にて福祉課高齢福祉係へ申込み

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市福祉課 高齢福祉係 担当／牛木・横山
TEL：0258-83-3517 FAX：0258-83-4160 E-mail：fukushi@city.ojiya.niigata.jp

令和5年5月24日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号**市の重点課題に職員が部署を超えて取り組む****3つの重点政策プロジェクトチーム「チームO・J・Y」を設置！**

小千谷市が抱える人口減少や産業の活性化、まちの魅力再生など複数課にまたがる重要課題に対して、様々な視点や知見を結集し、スピード感と当事者意識を持って対応するため、職員が部署を超えて課題解決の研究と実践に取り組む3つの重点政策プロジェクトチーム「チームO・J・Y（オー・ジェー・ワイ）」を設置します。

■重点政策プロジェクトチーム「チームO・J・Y（オー・ジェー・ワイ）」

◆設置日／5月24日（水）

◆辞令交付式

日時／5月24日（水）午前10時30分

会場／おちゃ〜る市民の家・信濃川水力発電記念館 芝生広場（山本1216-3）

テーマの1つである山本山を会場に、プロジェクトチームメンバーの代表者（各チーム2名）に市長が辞令を交付。課題解決への期待を込めた訓示を行います

※雨天時：おちゃ〜る内研修室

◆プロジェクトチーム概要

- ・チームO「テーマ① 雇用確保による人口減少対策」
 - ①-1 U・Iターン者増加
 - ①-2 女性活躍サポート
- ・チームJ「テーマ② 国魚錦鯉による産業・観光推進」
- ・チームY「テーマ③ 地域の魅力再生」
 - ③-1 中心市街地活性化
 - ③-2 山本山再開発

◆関係部署及び人数

総務課、※企画政策課、にぎわい交流課、防災安全課、税務課、市民生活課、環境共生課、福祉課、健康・子育て応援課、農林課、商工振興課、建設課、文化スポーツ課、教育・保育課、ガス水道局 合計15課30名 ※庶務担当課

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市企画政策課 担当／増川・佐藤

TEL：0258-83-3507 FAX：0258-83-2789 E-mail：plan@city.ojiya.niigata.jp